

令和6年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

講義番号	授業科目名	ミクロ経済学特論 B		担当教員	小松原 崇史		
	英語授業科目名	Microeconomics B		単 位	2	学 期	後期
対象年次	1・2年次	クラス指定		他との関連			
履修条件	ミクロ経済学特論 A を履修していること。						
テーマ・副題	ミクロ経済学の学習						
授業の教育目的・目標	ミクロ経済学の理論を学び、経済分析ができるようになることを目指す。						
授業の理解度の達成目標	ミクロ経済学の基礎概念を説明できること、簡単な経済分析ができるようになること。						
授業キーワード	市場の効率性、課税、国際貿易、外部性、公共財、生産の費用、競争市場						
授業の内容	ミクロ経済学についてのテキストを検討する。						
授業の方法	テキストの箇所を指定し、受講者に発表を求める。以下のスケジュールは、受講者の理解度によって、変更する場合がある。						
授業展開	1. はじめに 2. 消費者、生産者、市場の効率性 後半 3. 課税の費用 前半 4. 課税の費用 後半 5. 国際貿易 前半 6. 国際貿易 後半 7. 外部性 前半 8. 外部性 後半		9. 公共財と共有資源 前半 10. 公共財と共有資源 後半 11. 生産の費用 前半 12. 生産の費用 後半 13. 競争市場における企業 前半 14. 競争市場における企業 後半 15. まとめ				
成績評価方法	発表の内容（75%）、参加の状況（25%）により評価する。						
成績評価基準	総点において、100点～80点をA、79点～70点をB、69点～60点をCで合格とし、59点以下をDで不合格とする。						
テキスト	N・グレゴリー・マンキュー著『マンキュー経済学 I ミクロ編（第4版）』（東洋経済新報社、2019年）を用いる。						
参考図書							
準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容	毎週、テキストの内容について、レポートを作成する。（毎週4時間程度）						
学生へのメッセージ							
オフィスアワー	授業時に連絡する。						
連絡先	電話番号	0270-32-1011		メールアドレス:	online-komatsubara@sc.jobu.ac.jp		
人数制限	なし						